

一般選抜 試験の準備にあたって

〔英語〕

英語力を磨くことに関して、基本は高校の英語の授業にあります。授業で使用している教科書の内容を、正確に理解するようにしてください。さらに、参考書なども使って、特に重要な単語やイディオム（熟語）、構文を覚えることも必要です。また、関係代名詞などの文法の知識も必要不可欠です。英文和訳では、正確で自然な和訳が求められます。その際、1つ1つの英単語を、英和辞書に載っている日本語訳にただ当てはめていくだけの逐語訳ではなく、文章全体を見て、総合的に自然な日本語になるよう意識してください。場合によっては、英文では省略されている単語（関係代名詞の that など）を自分で補って訳を考えることも必要です。これらは一朝一夕で身につくものではないので、高校の授業を基本として、くりかえし復習と練習をすることが重要です。

また、時事問題や社会問題にも関心をもつことが、解答の助けとなることもあります。日頃から新聞やニュースを見るように心がけてください。今年度の出題では、TVやネットのニュースで話題になったトピックだったこともあり、全体的に良くできていました。既存の知識によって英文がぐっと読みやすくなった人も多かったかと思いますが、今後の対策としては、現在完了形 (have/has+過去分詞) や不定詞 (to+動詞の原形) といった基本的な文法をしっかり押さえておくようにしましょう。

〔公民〕

法学部で学ぶための基礎として、高校での公民科の学習や時事問題への関心は重要です。対策としては、日頃の授業を大切に知識を積み重ねることと、新聞やニュースに触れて時事問題への関心を高め自分で調べる習慣を身につけることを挙げます。大学の学びではそのようにして獲得した知識を活用する場面が数多くありますので、今できる学習を大切にしましょう。

〔小論文〕

これまでに小論文を書く機会が何度かあったかと思います。単に、受験対策のため、というだけでなく、自身の文章表現力をより高めていくためには、文章を書くという「トレーニング」を意識的に積み重ねていくことが不可欠な作業となります。

その際、書いたものが他の人の目に触れることにより、文章表現や文章内容の客観性を高めることにつながるできるので、①書いたものを先生に読んでもらい添削してもらい、②友達との間で互いに書いたものを交換しコメントし合う、③それらを参考にして、書き直しを行う、といったことをしてみることをお勧めします。

さらに、論述内容の質を高めるためには、日頃から、新聞を読むなどして社会問題に広くアンテナを張っておくことが有効ですし、加えて、友人たちと様々な事柄について意見交換をする習慣を作ることも小論文試験対策として大いに役に立つはずです。

なお、その際に、どのように表現すれば、自身の意見を読み手に的確に伝えられるのか、といった点などを意識するようにしましょう。

最後に、作文練習において「時間を意識しながら作成する」ということが、実は、とても大切なポイントです。

〔国語〕

国語力の向上を目指す際、日常生活、特に、高等学校での学習活動全体の中での地道な積み重ねを決して疎かにしないようにしてください。使用されている語句や表現などに注意を払いつつ、可能な限り、厳密・精確に文意・文脈・論理展開を把握することが重要になります。

私たちは、普段使用している、日本語で書かれた文章で使用されている漢字・語句・表現などについて、改めて、それらを丁寧に確認することなく、「読める・書ける・(だいたいの)意味を知っている」などと思っています。少しでも気にかかることがあれば、その都度、面倒であっても、調べる・確認する「作業」をしてみてください。不確かであったものが(より)確かな知識へと変わります。

また、現代文の問題演習をする際には、文意・文脈・論理展開といったことに意識を向けるように心がけてください。ワーク／トレーニングとしての「要旨把握」の積み重ねが重要です。こつこつ、地道にやっていきましょう。